

危機管理連絡会議

日時：平成28年4月14日（木）17:00～
場所：県庁4階405会議室

協議事項

- ・北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応について

連絡

発出時間	送達確認	処理者
13:33	要(一斉FAX)	須山

事務連絡

平成28年4月14日

各都道府県防災・危機管理担当部局 御中

消防庁第1次情報連絡室

北朝鮮のミサイル発射に関する情報提供

別添のとおり、北朝鮮のミサイル発射に関する記事が報道されましたので情報提供いたします。

なお、平成28年1月29日付けで内閣官房から示された事務連絡「北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応に係る情報伝達について」を踏まえJアラートの点検等についても、引き続きご留意願います。

<送信枚数>

本紙を含む 3 枚

<連絡先>	消防庁国民保護運用室 小泉 増永 須山
電話	03-5253-7551
F A X	03-5253-7543
	消防庁宿日直者(夜間・休日)
電話	03-5253-7777
F A X	03-5253-7553

東部に移動式ミサイル配備か＝あすの金主席誕生日に発射可能性－北朝鮮

4月14日 11時39分【時事通信社】

韓国の聯合ニュースは14日、北朝鮮が東部の元山付近に移動式中距離弾道ミサイル「ムスダン」1、2基を配備したと報じた。韓国政府筋は聯合に対し、「15日の故金日成主席誕生日を機に発射する可能性が高い」と語った。ムスダンが発射されれば、実戦配備後初めてとなる。ムスダンには運搬・起立・発射用車両（TEL）に搭載されているという。

この報道について韓国国防省報道官は14日の記者会見で、確認を避けながらも、金正恩第1書記が「核弾頭爆発実験と核弾頭搭載可能な弾道ミサイルの試射を近く断行する」と発言したことを指摘。「5回目の核実験やムスダンなどの発射可能性を注視し、態勢を整えている」と述べた。

ムスダンは旧ソ連の潜水艦発射型弾道ミサイル（SLBM）を基にしたミサイルで、射程約3000キロとみられている。

北朝鮮、25日までの弾道ミサイル発射を計画

4月14日 朝刊【東京新聞】

米CNNテレビが北朝鮮で移動式の弾道ミサイルを発射する兆候があると伝えたことに関し、北朝鮮に詳しい複数の消息筋は13日、北朝鮮が14日から朝鮮人民軍創設記念日の二十五日までの間に発射を計画しているもようだと伝えた。金正恩（キムジョンウン）第1書記が三月に指示したとの情報もある。米韓合同軍事演習に対抗すると同時に、五月の朝鮮労働党大会に向け、金第1書記の指導力を国内で誇示する狙いがあるとみられる。

消息筋によると、発射される可能性があるのは、中距離弾道ミサイル「ムスダン」（射程三千キロ以上）や、過去に発射実験をしたことがない大陸間弾道ミサイル（ICBM）「KN08」、同ミサイルを改良し、射程が一万キロに達するミサイルなどとされる。中国産車両を改造した移動式発射台に搭載して発射するとみられ、深夜に発射現場まで移動すれば、偵察衛星が動きを捉えるのは難しくなる。

別の北朝鮮関係筋は、北朝鮮東海岸の江原道元山（カンウォンドウオンサン）付近から発射する公算が大きいと話した。消息筋は、金第1書記が三月上旬にミサイル工場を視察した際に発射を指示していたと指摘した。

事務連絡

平成28年1月29日

各指定行政機関危機管理部局長 殿

各都道府県知事 殿

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

内閣審議官 大庭 誠司

北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応に係る情報伝達について

昨今の北朝鮮情勢を受けて、政府としては、弾道ミサイルの発射を含む各種事態に備え、危機管理対応に万全を期しているところですが、仮に北朝鮮によりミサイルが発射されて日本に影響がある場合には、緊急情報ネットワークシステム（エムネット）を、さらに、関係する地域に対しては併せて全国瞬時警報システム（Jアラート）も使用して情報伝達することとしています。

つきましては、指定行政機関危機管理担当部局長にあつては、所管する指定地方行政機関及び指定公共機関に対して、都道府県知事にあつては、貴都道府県内の市区町村及び指定地方公共機関に対して、ご周知をお願いいたします。

（連絡先）

担当：内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

国民保護企画担当

小谷参事官、倉富参事官補佐、清水参事官補佐

電話：03-3581-8926

FAX：03-3581-5671